

エコ新田「みらい」

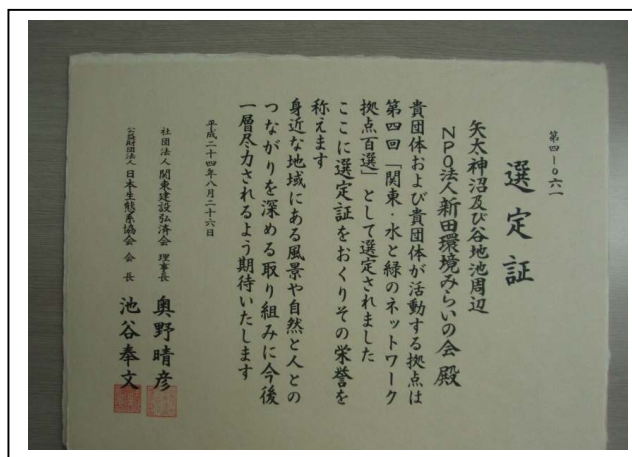
発行元・ URL : <http://www7a.biglobe.ne.jp/~NITTA-MIRAI/>

矢太神沼周辺と谷地池周辺

関東・水と緑のネットワーク拠点 百選

～将来に残したい『自然・風景・人』のつながり～

に選定される



選定証



選定式

(対象場所)



矢太神沼下流水路



谷地池下流水路

『関東・水と緑のネットワーク拠点百選』に選定される

将来に残したい関東の自然として、矢太神沼周辺と谷地池周辺が（社）関東建設弘済会と（財）日本生態系協会が主催する選定委員会により、『関東・水と緑のネットワーク拠点百選』に選定されました。

拠点百選に選定されたことにより、今後（社）関東建設弘済会及び（財）日本生態系協会の支援のもとに自然と人とのかかわり、繋がりを考え、その意義を広く伝えていくことを目指して生物多様性の保全・再生や環境学習の場づくりなどの推進が可能となります。

『応募の趣旨』

新田環境みらいの会では、次のような趣旨により応募しました。

○ 将来に残したい身近な[自然・風景・人] のつながりが可能

当該地域には、赤城山の南東麓斜面に位置する大間々扇状地の扇端に、かつては118か所が確認された湧水池群があり、中でも生物多様性がみられる代表的な湧水池である「矢太神沼」、「谷地池」があります。

「矢太神沼」： 清冽な湧水が多く、古来からの姿を保ち市指定の天然記念物です。下流の流出水路及びその周辺は、ほたるの里として整備されましたが、現在は草が繁茂し人々が近寄りづらい状況となっており、多自然型の水路に遷移しています。

「谷地池」： 自然的な要素を取り入れた公園として整備されています。しかし、下流の流出水路は今も素掘りであり水生生物や水辺植物が繁茂し、今では数少ない自然豊かな形態が残されています。

○ 応募場所が果たす役割・機能

湧水池群は全て川でつながっており、中でも代表的な「矢太神沼」及び「谷地池」とその下流域は生物の多様性が維持される可能性の高い場所です。

このように、湧水池と水路が一体となって自然豊かな水辺が残されている数少ない地域を、将来に残すためにわれわれ市民団体や地元・行政が連携して、生物多様性の確保、かつ身近な水辺と緑のある原風景を再生し多くの人に安らぎを与えられる場、さらに、次代を担う子供たちの学習の場となることが可能と考えています。

『選定結果』

選定日（証授与式）	平成24年8月26日
主催団体	社団法人 関東建設弘済会
	公益財団法人 日本生態系協会
応募団体	NPO法人 新田環境みらいの会

『支援可能な主な内容』

（社）関東建設弘済会と（財）日本生態系協会から次の内容の支援が期待されます。

(1) 物理的支援

2～3年間、上限20万円程度に支援される

- ・ 自然環境調査に必要な物品
- ・ 調査報告書の作成
- ・ 観察路、木道の整備・補修など
- ・ 案内板、立ち入り防止策の設置・補修など

(2) 技術支援

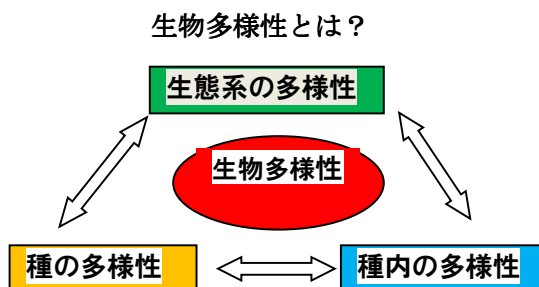
- ・ 植生管理、外来生物の駆除等に関する技術指導
- ・ 利活用についてのアドバイス

(3) 普及・広報などの支援

- ・ 関東建設弘済会及び日本生態系協会のウェブサイトでの選定池と活動内容の紹介

『対象場所』

選定の対象地域は矢太神沼下流水路と谷地池下流水路です。



『今後の保全活動予定』

保全のための当面の作業スケジュール次の通り予定しております。
 具体的な作業内容等は、後日改めてご連絡させていただきます。
 皆さん方のご協力をお願いします。

矢大神沼下流及び谷地池下流水路保全活動の作業スケジュール（案）

実施項目	今年度						備考
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
現地調査 ○現況のまとめ 地形・環境・ 管理実態 ○現況の現地調 査 ・生物調査 ・水質調査 ・管理実態調査	↔		↔	↔	↔		・既存資料の収集整理 (図鑑等図書を購入) ・土曜スクール(理科の 先生協力等) ・1%事業の活用(水質分 析等) ・管理実態・管理者の意 向把握等
保全方針検討 ・調査結果のま とめ ・課題の整理 ・植生管理、外 来種対策 等の技術指導		↔	↔				・保全対象地域の現状ま とめ ・谷地池のオオフサモ対 策 ・矢大神下流のヨシ対策 等 ・専門家の現地指導
保全活動(維持管 理) ・外来種の除去 ・ゴミ等の清掃	↔					↔ ↔	・ヨシやオオフサモの除 去等 (鎌、集草鋏、ゴミ袋等の 購入)
保全整備計画案の 作成 ・地元関係者等意 見交換 ・行政等関係機関 等	↔ ↔					↔ ↔	・水路管理者、自治体等 ・県・市の関係部局等
保全のための広報 活動 現状と課題・整備の 考え方等の提言 ・ウェブサイトで 紹介	↔				↔ 「講演会」 ↔ (2/3)	↔	・太田市環境フェア(11/10) ・ふれあい祭り(2/10) 『日本生態系協会講師』 ・会のホームページ、弘 済会

(赤穂俊作 記)

湧水地クリーン作戦実施

新田環境みらいの会では矢太神沼周辺と谷地池周辺を「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」に応募しました。平成24年7月7日（土）午前9時～応募地の現状を確認しながら、クリーン作戦を実施致しました。地元のみなさんのご尽力で手入れがなされ、きれいになっておりましたが大雨の後の事もあり、水路にビニールや空き缶等が目立ったところもありました。参加者のみなさんのお陰で大変きれいになりました。「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」候補地として良い結果が得られる事をみなさん期待しておりました。



雨上がりの水路の点検するみなさん



拾い集められたゴミと参加のみなさん

関東・水と緑のネットワーク拠点百選 審査員現地視察

日 時 7月11日（火）16時
集 合 場 所 太田市綿打行政センター会議室
視 察 場 所 矢太神沼周辺・谷地池周辺

「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」に新田環境みらいの会では「矢太神沼周辺」と「谷地池周辺」を応募いたしました。選定委員会で書類審査をパスし、現地調査が行われることになりました。

当日は、桜美林大学名誉教授三島先生を含め5名の審査員に会場に来て頂き、綿打行政センターで、西村理事長と赤穂理事から応募した理由と内容を説明し、理解して頂いた後、現地を視察して頂きました。大変暑い一日で、今日、県内三カ所目候補地視察でしたが、各応募地を詳細にみて頂き、好感を頂いたようでした。審査員の話の総称すると、改めて太市新田地域湧水地が貴重性である事を感じております。⇒8月26日に選定されました。



矢太神沼の状況視察中



谷地池の状況視察中

エアリスクリーン作戦8月度参加

参加場所 エアリス総合運動公園

時 間 AM6時30分～

「NPO法人・新田環境みらいの会」では、毎年クリーン作戦に、総合公園内への参加をしております。

今回も早朝から、6名に参加して頂きエアリス周辺の清掃を実施しましたが、最初参加の頃から比べるとゴミの量は少なくなってきたようです。

みなさん、ご苦労様でした。

次回は10月6日(土)AM6時30分～

みなさんの参加お待ちしております。



景観パトロール実施

期日 9月8日(土)

場所 生品地区

平成16年に景観法の制定により、太田市では、平成23年より屋外広告物の適正化に取り組んでおります。

「NPO法人・新田環境みらいの会」として、太田市景観ボランティア活動に団体登録し、地域内の屋外広告物が適正に掲示されているかどうかの、景観パトロールを実施しております。

今回は第三回の行事に成りましたが、新田木崎地区・新田綿打地区に続き、新田生品地区の巡回パトロールを実施致しました。

最近では景観を汚すような、違法広告物は少なくなってきましたが、これまでの巡回パトロール同様、金融関係の不相当と推定された看板が相変わらず見うけられました。

私有地関係の広告等は対象に成りませんが、キャンペーンの登り旗や案内板等設置するときには、設置場所を確認してから取り付けをお願い致します。



「金融誘致看板」



「不動産誘致看板」

綿打小学校・平成24年度・夏 グリーンカーテン活動実施

綿打小学校「志村校長先生」では、熱中症対策、節電対策で、暑さ心配の夏場生徒みなさんが元気に勉強できるようにグリーンカーテン（ゴーヤ等）を育てました。【綿打小学校だより】5月17日、5年生6年生の生徒さんがプランターにゴーヤの苗を植えて、先生たちは花壇のネット張りが大変のようでした。昨年は思い通りのグリーンカーテンに成らず、今年こそは失敗出来ないと校長先生、教頭先生の取り組み方も大変だったようです。猛暑の日々が続いた今夏でしたが、8月末夏休みも終わろうかという時期「当会のみなさんが訪問したときには、」見事なグリーンカーテンに仕上がっていました。地下植の土壌づくりに大変苦勞した様ですが、プランター栽培同様大成功のお話でした。

生徒さん達も水やり当番等大変だったようですが、夏休み明け涼風を感じ楽しい授業風景が目に見えるようです。



見事に成長したグリーンカーテン



プランター栽培の階上教室風景



綿打小学校志村校長先生のお話を聞く会員

お忙しい折、志村校長先生を NPO 法人「新田環境みらいの会」として、訪問させて頂きました。グリーンカーテン仕上がりまでの苦勞ばなしなどを、お伺い致しました。今年の仕上がりを糧に来夏も挑戦するため、今年、先生方が苦勞して設計した花壇やカーテン棚は残し来夏対策も見据えているようでした。有難うございました。



綿打中学校グリーンカーテン状況

綿打中学校も今夏はグリーンカーテンづくりに取組成果を上げておりました。訪問時、朝顔や、へちま、他、きれいなカーテンに仕上がっておりました。撮影時校長先生、ご協力有難うございました。

会員のグリーンカーテンづくり

ゴーヤの育成について

2011年度 (失敗談)

2012・8 神岡 好夫

昨年度は緑のカーテン、ガイドブック資料通りに皿に水を張り種の頭を切り種から発芽するまで手順を確認し発芽待ちでしたが、なかなか出ないので、種をほかに蒔き替えしたら約一週間くらいで発芽しました。そのため収穫が遅れました。

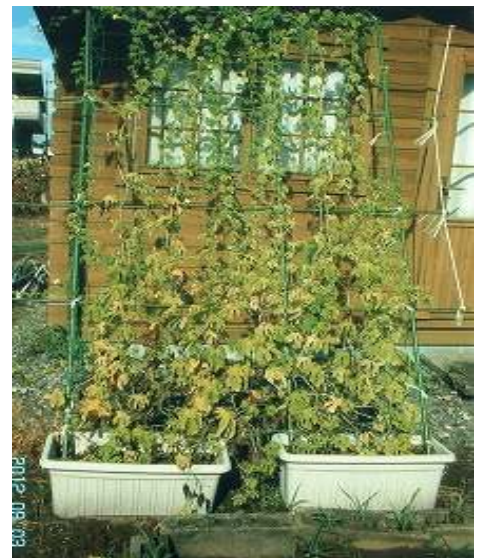


2012年度 (成功談)

4月30日種蒔き、今年は1から10日位で発芽し15cmに成ったので、カーテンに成るところに定植しました。8月15日見事に25cm位に育ち、収穫し1日おきにゴーヤ料理で家族で楽しんでいます。緑のカーテンは毎日使うお勝手口を覆い温度が2度低く快適な日々を送っています。

会員高井さん、今年グリーンカーテンに初挑戦。

発芽時点までは、良かったようですが夏場の暑さと水やりが不足したのか、思うような結果が得られなかったようですが、まずまずだったようです。来年もカーテン棚は応用して再挑戦するようです。



生品小学校土曜スクール開催

開催日 9月8日(土)

時間 AM9時～

今回は、参加者は5名と少なかったのですが、みんなで小学校周辺のクリーン作戦を兼ねて、ごみや不法投棄状況を確認しながら、巡回致しました。子供たちは、だれもポイステしていないのに、なぜこんなに沢山、ペットボトルや空き缶などが捨てられているのが不思議でならないようでした。



こんなところにもペットボトル発見



誰が捨てたのか、グラウンドにゴミの山

イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン 助成金を頂く

新田環境みらいの会では「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」の第18期（2012年3月～8月）の助成団体に登録され、毎月11日のイオンデーに多くのお客様からお買い上げのレシートを当会に投函して頂きました。投函して頂いた黄色いレシートの総額は812,686円で1%の8,100円が当会に寄贈されました。

当会は第19期（2012年9月～2013年2月）の団体としても登録され、9月11日にイオンモール太田店で寄贈式と来期の登録団体が紹介され、西村、神岡が参加しました。

会員の皆様がイオン太田店で毎月11日に買い物をされる場合は黄色いレシートを当会のボックスに投函して頂きますようお願い致します。（西村 記）

10月以降の主な行事

① 太田市環境フェア 11月11日（日）エアリスアリーナ

テーマ：環境にやさしく美しいまちづくり

No	展示名称	展示内容
1	湧水地と水辺の保全活動	<ul style="list-style-type: none"> ・新田地域の湧水地紹介 ・湧水地や河川の除草、観測などの活動報告 ・主要湧水地の保全整備構想・計画の紹介 ・「身近な水環境の全国一斉調査」結果の報告 ・金山の古井戸の紹介
2	生物多様性の保全活動 (将来に残したい『自然・風景・人』のつながり)	<ul style="list-style-type: none"> ・「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」について ・選定地の紹介（矢太神沼周辺、谷地池周辺） ・活動計画の紹介
3	ゴミの削減と景観保全活動	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーン作戦の紹介 ・不法投棄やポイ捨ての写真展示 ・資源ゴミの処理方法の紹介 ・古紙で作るごみ入れの製作体験 ・景観保全活動の紹介
4	お絵かきマイバック創り 地球温暖化防止活動と環境教育	<ul style="list-style-type: none"> ・子供を対象に無地の布バックにお絵かきをし自分だけのマイバックを作る。 ・会員が育てたグリーンカーテンの紹介 ・「ストップ温暖化」県民アクションの紹介 ・生品小学校の土曜スクールの活動紹介 ・太田市の環境に関するクイズ

② 新田湧水群の見学会 11月24日（土）矢太神沼、通木、谷地池、他

③ 太田NPOフェスティバル 1月13日（土）太田イオンホール

④ 10周年記念講演会 2月3日（土）エアリス多目的室（予定）

⑤ 綿打ふれあい祭り 2月9日（土）10日（日）

会員の皆様の出席をお願い致します。

会報「エコ新田みらい」の原稿、ご意見は西村理事長及び、広報担当まで連絡宜しくお願い致します。

広報担当 連絡先

椎名 美雄 「E-mail:shiina_y@cameo.plala.or.jp」